

5月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
07/05/01 (火)	東京は連休の谷間に当たるうえ中国や香港が休場で動きにくい。ただユーロは強く対円で最高値を更新。欧米は休場多いなかドルがしっかり。一時円高が進行したものの、良好な米経済指標を受けて反転。	・レバ・デーなどでアジアや欧州の主要市場が休場 ・4月の米ISM製造業景気指数54.7、3月の米中古住宅販売件数 4.9%	・尾身財務相「日本のファンダメンタルズは非常に良好」 ・米FRB議長「米国の保護主義には反対」	119.45 119.87 119.07 119.86	163.09 163.31 162.80 163.06	24H 寄付 安値 高値 終値
07/05/02 (水)	東京は参加者乏しいなかやや荒い値動き。ただ飽くまでレンジ内でボックスを抜け出せず。欧米は発表された米経済指標は強弱混在でノーイバク。ただ欧州要人発言を受けてユーロに買い安心感。	・4月の独失業者数 9000人、同失業率9.2% ・4月の米ADP全米雇用報告6.4万人、3月の米製造業受注3.1%	・独財務相「ユーロ圏財務相会合でユーロが通常通り協議」 ・欧州関係筋「ユーログループ会合、ユーロ高に懸念示さず」 ・米財務長官「中国に関しては落胆を感じている」	119.77 120.28 119.47 120.16	162.95 163.39 162.53 163.32	24H 寄付 安値 高値 終値
07/05/03 (木)	東京休場ということもあり、アジアタイムは目立った動向うかがえず。レンジ相場に終始。欧米は発表された米経済指標が強い内容になったことでドル買い優勢。しかし120円半ばには届かず。	・第1四半期の米単位労働コスト0.6%、同非農業部門労働生産性1.7%、4月の米ISM非製造業景気指数56	・カナダ中銀総裁「カナダがさらに上昇しても為替介入は検討しない」 ・アルムニア欧州委員会委員「対ドルでのユーロ上昇は需要でない」 ・米財務長官「対中での米貿易赤字縮小を望む」	120.19 120.47 119.97 120.44	163.39 163.60 163.13 163.20	24H 寄付 安値 高値 終値
07/05/04 (金)	引き続き東京休場ということもありアジアは薄商い。輸出オフアなどがドル上値抑制し上げ渋り。欧米は注目された米雇用統計が失望を誘う。当月分だけでなく過去2ヵ月分も下方修正されドル売りへ。	・4月の米失業率4.5%、同非農業業者雇用数8.8万人	・尾身財務相「日中財務相会談で為替はファンダメンタルズを反映すべきと伝えた」 ・カナダ中銀総裁「キャリ取引はリスク、一方的な取引は常に危険」	120.38 120.47 119.90 120.18	163.17 163.39 162.86 163.35	24H 寄付 安値 高値 終値
07/05/07 (月)	東京は前週の流れを継ぎドルが弱含み。一方ユーロ高の牽制がないことで円よりもユーロが堅調裡。欧米は引き続きユーロ高の動き優勢。蘭財務相の発言などがユーロ買いの安心感を増長させた。	・3月の日銀決定会合議事録要旨公表 ・ロンドン休場 ・3月の米消費者信用残高135億ドル	・ECB総裁「市場はリスクを過小評価している可能性」 ・蘭財務相「現在のユーロ水準に懸念はない」 ・仏財務相「欧州財務相はユーロにおける問題に関し話し合った」	120.11 120.13 119.79 120.10	163.27 163.44 162.96 163.36	24H 寄付 安値 高値 終値
07/05/08 (火)	東京は本邦輸出企業のドル売り意欲が強く冴えない値動きとなるも投信設定絡みの買いなどで底堅い。欧米は独財務相の発言などもあり円が堅調裡。クロスでは1円以上の大幅高を示す局面も見られた。	・中国人民銀行が外貨の預金準備率を5%に引き上げ ・3月の米卸売在庫0.3%	・独財務相「円相場は日本経済の回復を考慮すべき」	120.10 120.13 119.52 120.03	163.31 163.34 161.91 162.56	24H 寄付 安値 高値 終値
07/05/09 (水)	東京は中国株が急落して始まったこともあり円キャリへの巻き戻しが優勢に。ただドル下値も限定的。欧米は米金利据え置きは予想通りながら声明がやや強い内容となったことでドルが小じっかり。	・米FOMCの金利据え置き決定、声明は「インフレ警戒」のトーン継続で若干カ派の内容 ・トヨタが決算発表、経常利益が日本企業初の2兆円	・ユンケル・ルケンブルグ首相「円は経済のファンダメンタルズを反映していない」 ・ジョーダンスイス銀理事「さらなる追加利上げの可能性」 ・ノベル米財務副次官補「円安は長期テールの帰結、操作されていない」	119.96 120.15 119.63 120.10	162.40 162.52 162.06 162.47	24H 寄付 安値 高値 終値
07/05/10 (木)	東京の主要通貨は小動き。しかし豪雇用統計が予想以上の好数字となったことで豪ドルが急騰。欧米は英利上げにもかかわらず失望の見方が優勢。また欧州についても同様の見方でユーロ冴えない。	・4月の豪新規雇用数4万9600人、同失業率4.4% ・BOEが0.25%の利上げ動意 ・ECBは金利据え置きを発表 ・3月の米貿易収支 639億ドル、対日 70.5億ドル、対中 172.4億ドル	・ECB総裁「物価安定のため強い警戒感が必要」 ・米財務長官「中国に対する貿易赤字最大の要因は通貨の問題ではない」	120.14 120.54 119.83 119.90	162.61 163.05 161.58 161.69	24H 寄付 安値 高値 終値
07/05/11 (金)	東京は前日の米株安を受けたアジア株の連鎖安懸念から一時円買い進む。しかしドル下値は限定的。欧米は弱い米経済指標がドル売り材料となるもボ・ルソンのG8欠席が伝えられると流れが一変した。	・4月の米PPIは0.7%、同小売売上高0.2%、3月の企業在庫0.3%	・米財務省「ボ・ルソン氏が15日の独G8財務相会合欠席、キミット副長官が代理出席」	119.90 120.23 119.47 120.19	162.60 163.05 161.09 162.54	24H 寄付 安値 高値 終値
07/05/14 (月)	東京は日本の経常黒字が過去最大になったことでドル売り・円買い。しかしクロスでは依然円売り優勢。欧米はさしたる経済指標の発表などもなく比較的静かな値動き。ただ引けにかけては若干円買い優勢。	・4月の国内企業物価0.8%、3月経常収支3兆3172億円、同貿易収支1兆7820億円 ・米著名情報社が「日銀会合後の福井総裁発言カ派になる」とのレポート送信の噂		120.12 120.46 120.06 120.35	162.65 163.20 162.58 163.01	24H 寄付 安値 高値 終値
07/05/15 (火)	東京は低調な機械受注が円の弱材料となるも米債償還による円転オーダーなどが円の下支えに寄与。欧米は発表された米経済指標がやや悪化したものの逆にドル買いの流れ。またユーロ/円は最高値更新も。	・3月の機械受注 4.5% ・第1四半期ユーロ圏GDP速報値0.6% ・4月の米CPIは0.4%、同コアCPIは0.2%、3月の対米長期証券投資676億ドルの資金流入、5月のNY連銀製造業景気指数8.0	・独高官「G8財務相会合で為替は話し合わない」 ・ルケンブルグ中銀総裁「ユーロ圏GDPの結果を受けてECB見通しの上方修正も」	120.45 120.59 120.13 120.27	163.14 163.67 162.66 163.46	24H 寄付 安値 高値 終値

* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで